

第49回全国高等学校囲碁選手権大会 全国大会

8月4日(月)～6日(水)東京都、日本棋院で全国大会が行われ、団体戦、個人戦に出場してきました。

3年次 吉村 真央 (白鷹中出身)

私は今回の大会が最後になりましたが、自分自身、様々な面で成長できたので良かったです。

このような大会に参加できたのは、白鷹町や部活動の仲間たち、囲碁を一から教えてくださった先生方のおかげです。本当に感謝しています。悔やむのは、最後のこの大会で1勝もできなかったことです。後輩にはこのような思いをしてほしくないと思っています。ですので、私が後輩たちに、教えられることはすべて伝えていきたいです。



2年次 村上 愛海 (白鷹中出身)

大会に参加して、多くの人と交流できたことが私の中でとても貴重な体験となりました。大会で多くの実力者と対局することで、自分の弱点や新たな戦術を発見することができました。また、全国大会という場で対局することで、集中する力を養うことができたと思います。この大会で得た気づきや新たな発見を、日々の練習や次の大会で活かし、様々な戦い方ができるように頑張っていきたいです。

2年次 石田 彩花 (白鷹中出身)

全国大会では、愛知県チームには負けたものの、青森県チームと沖縄県チームに勝つことができました。グループでは第2位という結果で、日ごろの練習の成果を出せたと思いました。特に沖縄県とは、大将、副将、三将すべて勝つことができ、嬉しかったです。

青森県との対局は、大将である私が負けてしまったのですが、本当に少しの差でしたので、とても悔しかったです。この悔しさを糧にこれからも精進していきたいです。



2年次 佐藤 日向 (白鷹中出身)

私は今回初めての大きな大会で緊張はしましたが、力いっぱい戦うことができたと思います。チームとしては、2勝1敗でしたが、特に負けた愛知県の南山高校との試合が記憶に色濃く残っています。南山高校の対戦相手の方は、今まで経験したことのない打ち方をされていて、大変勉強になりました。陣地の固め方が美しく、何手先まで読めばこう作れるのかと驚きました。勝った試合だけでなく、負けた経験も自分の力になるのだと学んだ大会でした。

1年次 青木 七海 (白鷹中出身)

私は今回、初めて囲碁の全国大会に出場しました。3チームと戦い、2勝することができました。残念ながら唯一負けた、愛知県の南山高校(今回の大会優勝高校)と対戦した時に多くのことを学びました。例えば陣地を崩されないようにする大切さや、数手先までしっかり考え打つ大切さ、打つ時の指の所作の美しさです。これからは、わからなかったところは、すぐに先生や先輩に質問するようにしたいです。10月には県大会が控えています。それに向けて多くの問題に挑戦し、成長していきたいです。